



At the heart of the image

Nikon 100th anniversary

中高生フォトグラファー応援マガジン

boys & girls photo magazine

No.294

TopEye

2017

12-1

第185回
TopEye
賞

「多重人色」川口 春瑠

〔帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校3年〕

ガンバレ写真部!

写真力は「守・破・離」で育つ?!

関市立関商工高等学校

テーマ別に撮り方追求!

TopEye デジタル写真なるほど教室

第14回

「流し撮り」で電車をドラマチックに!

視想講座 VOL.288

日本の絶景を撮り尽くしたい

星野 佑佳

FRIENDS' EYE

PhotoPhoto OB/OG訪問

(日本大学芸術学部写真学科3年 / 香川県立坂出高等学校OB)

山田 凌 さん

TopEye
全国高校生写真サミット2018
出場校 決定!!

2/2~2/4 横浜で開催!



見てね!
TopEye
WEBサイト

「フォトサロン」受賞作品(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロードができます。ぜひご覧ください!

ニコトッパイ

検索

Nikon College
ニコカレッジ



顧問の先生・部員の皆さんで
ぜひ、回覧してください!



賞品

- ・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3400レンズキット
- ・賞状

表紙に大きく載ってるよ!!



審査員 小林紀晴

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年 写真展「遠くから来た舟」で第22回 林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポスターに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。



「多重人色」川口 春瑠

帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校3年

- D3400 ●AF-S 50mm
- M (1/400秒・f/2.2、1/400秒・f/2.2、1/500秒・f/2.2、1/160秒・f/3.2)
- ISO250 (4枚とも)

コメントには「校内には4種の私が存在する」とありました。人格は必ずしも一つではないのかもしれませんが。作家の平野啓一郎さんは「分人」という言葉でそれを提唱しています。一人の人間でも状況や相手によって異なる自分がいるという意味です。この4枚の組写真はそれを強く感じさせてくれました。作者はおそらく無意識のうちに、そのことに気づいたはず。ビジュアル化することは簡単なことではないはずですが、見事にかたちになりました。

第185回 TopEye賞 受賞

受賞のコトバをどうぞ!!

川口 春瑠さん



TopEye賞に選んでいただきありがとうございます。卒業までに1度でいいからTopEyeに載りたいと思うほど憧れのフォトコンテストだったので、とてもとても嬉しいです。見た目や雰囲気も違う4色の少女。色も違うけど、どれも本当の自分。時々自分には色々な顔があると思う時があります。そんな思いを4色4枚の組写真で表現しました。モデルをしてくれた友達、そして顧問の先生には感謝もしきれないほどです。本当にありがとうございました。

準TopEye賞

賞品

- ・ニコンデジタルコンパクトカメラ COOLPIX A300
- ・賞状



「飛べ!!」小西 更

和歌山県立神島高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●Aオート (f/5.6) ●ISO100

体育祭での大縄跳びの一場面です。毎回、縄跳びの場面は応募があり、今回も複数ありましたが、中でもこの作品は迫力に満ちていました。とにかく構造が考え抜かれています。手前に人物を置いたこと、揃った足、弾ける砂、そして縄がS字を描いているさま…。掛け声、縄が鳴る音が画面の向こう側からリアルに聞こえてくるかのようです。



気づきや感情をいかにビジュアル化するか ———— 小林紀晴

今回、TopEye賞に選ばせていただいたのは、川口春瑠さんの「多重人色」という作品です。驚きがありました。自身が普段から気になっていること、意識していることをどう形にするのか…。言葉では苦勞なく説明できることが、写真だけで表現しようとすると、そう簡単なことではありません。深く考えることが必要です。この作品は考え抜かれています。きっと過程では試行錯誤もあっただろうです。他の方の作品も人物を正面から捉えている作品が目にとまりました。SNSなどのコミュニケーションでは収まりきれない、あるいは伝えることのできない声や感情といったものを強く感じました。生身の人間と人間のぶつかり合いを尊く感じています。



「Plant in Wonderland」山本 優花

大阪府立成城高等学校 2年

- D7200
- AF-P DX10-20mm (1.4 枚目) AF-S DX18-140mm (2.3 枚目)
- M (1/100秒・f/22、1/100秒・f/22、1/200秒・f/20、1/100秒・f/20)
- ISO100 (4枚とも)

物言わぬ植物。動くことがないそれらが、あたかも動き出しそうです。スピードライトを効果的に使い、けっして肉眼では見ることのできない世界を表現しています。植物に感情があるかのようです。花々の叫び声が聞こえてくるかのようです。



「マネキン願望」新井 舞

群馬県立藤岡北高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- Aオート (f/3.5) ●ISO400

少しだけギョッとさせられました。妙にリアルなマネキンが一体…と思ったら、生身の人間でした。だまされました。自然に並んでいます。しばらく見ていると不思議なことにマネキンの方が人間に、人間の方がマネキンのように見えてきました。肌の色の違いがいいです。



「日常の幸せ」大平 茉里奈

中越高等学校(新潟県) 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 24-70mm ●Aオート (f/9) ●ISO10000

あまり拝見することのない一枚です。いい意味で肩の力が抜けた作品です。誰かが飛ばした紙飛行機。それぞれが、さまざまに反応をしています。ひとつひとつ確認していく面白さがあります。不思議とクラスの雰囲気が伝わってきます。きっと、みなさん仲良しなのでしょう。

「境界」湯田 真樹子

大阪府立四條畷高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-270mm ●M (1/20秒・f/5) ●ISO800

インパクトがあります。コメントによればモデルは高校生のようです。お化粧をしているのでしょうか、とても高校生には見えません。大人びています。スピードライトを上手に使い、人物を強く浮き立たせました。背後の空とのバランスも上手にとれています。

入選作品1点は「フォトフォトサロン」応募規定外と判明したため、入賞取消しとさせていただきます。



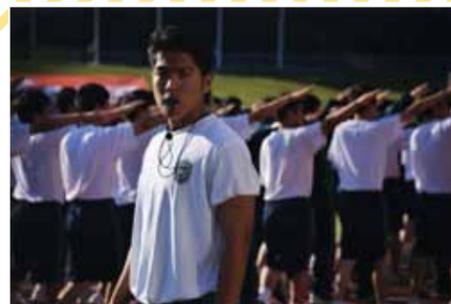
「ありがとう」高橋 楓

愛知県立津島東高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-135mm ●M(1/320秒・f/6.3)
●ISO200



「夏の吹雪」浦添 莉乃

沖縄県立浦添工業高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●55mm ●M(1/320秒・f/7.1)
●ISO800



「男の貌」橋本 尚幸

埼玉県立浦添工業高等学校(埼玉県) 高校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●Aオート(f/3.5) ●ISO400



「任せろ!!」山藤 奈津

出雲北陵中学・高等学校(島根県) 高校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●オート ●ISO100



「DIVE」小川 黎

静岡県立伊東高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●60mm ●M(1/5秒・f/2.8) ●ISO1000



「乱反射」與古田 祥太

沖縄県立知念高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●10-22mm ●M(1/800秒・f/7.3) ●ISO125



「ジブン探し」二瓶 由海

埼玉県立芸術総合高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●Pオート
●ISO800、125



「暖かな光につつまれて」新井 美可

群馬県立大間々高等学校 2年
●D610
●AF-S 80-200mm ●Aオート(f/2.8)
●ISO320



佳作

賞品

・オリジナルポーチ
・賞状



「相棒」大林 真央

岐阜県関市立関商工高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●Pオート
●ISO320

●D5500(1枚目)、デジタル一眼レフカメラ(2~4枚目)
●AF-S DX55-300mm、50mm、24-105mm、18-270mm
●M(1/80秒・f/5.6、1/500秒・f/2.5、1/25秒・f/4、1/80秒・f/6.3)
●ISO800、800、200、800

「不動心」井上 聖唯

香川県立坂出商業高等学校 2年



- 「愛惜」 恒松 杏 島根県立大田高等学校 2年
- 「涼」 石井 唯 宮城県仙台市立仙台工業高等学校 2年
- 「夢をのせて」 星 美紀 中越高等学校(新潟県) 2年
- 「憧憬」 齋藤建太 宮城県利府高等学校 2年
- 「トンボのうたたね」 阿部拳士朗 宮城県白石工業高等学校 1年
- 「夜空に咲く花」 奥山直人 法政大学第二・高等学校(神奈川県) 高校2年
- 「スパークル」 成瀬 夢 帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校2年
- 「晴れ時々ねこじゃらし」 古山 大聖 宮城県白石工業高等学校 1年
- 「Flower Road」 比嘉 夏子 沖縄県立浦添工業高等学校 2年
- 「夏はこれから」 土山日菜恵 和歌山県立神島高等学校 2年

- 「見たな?!!」 向井もも 帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校2年
- 「フォトサロン」 応募規定外と判明したため、入賞取消しとさせていただきます。
- 「drenched」 岡田あかり 和歌山県立神島高等学校 2年
- 「スター」 川又圭人 中越高等学校(新潟県) 1年
- 「煌めく星々」 島貫玲奈 宮城県名取北高等学校 2年
- 「Cry」 土屋果七 愛知県立小牧南高等学校 2年
- 「曇天」 橋本尚幸 埼玉県立津島東高等学校 2年
- 「外山 潤」 岩城陽葉里 愛知県立津島東高等学校 3年
- 「ここから」 榎丸裕貴 愛知県立津島東高等学校 3年
- 「住人」 上野睦生 福井県立丹生高等学校 2年

受賞ポイント

- TopEye賞 100ポイント
- 準TopEye賞 70ポイント
- 入選(5作品、うち組写真最大2作品) 40ポイント
- 佳作(10作品、うち組写真最大3作品) 20ポイント
- 準佳作(20作品) 7ポイント

※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

裏表紙で各校の獲得ポイント発表!

ガンバレ写真部!!

今年4月号の「先生だけのフォトサロン」で見事TopTeacher賞を獲得した先生が率いる、岐阜県関市立関商工高等学校。やさしく温厚な先生ですが、なんと「武道の極意」を活動に採り入れているとか、いないとか?! 興味津々、訪ねてきました!

関市立関商工高等学校



部室…じゃない剣道場で
ピンッと!!

今回、撮影体験のモデルを引き受けてくれました。ありがとうございます!!

後列左から:顧問の井戸先生、松ヶ崎くん、山田くん、田口さん、江川さん、平田さん、間宮さん
前列左から:木谷くん(剣道部)、佐藤くん、大林くん、西部くん、小倉くん、松田くん



部室入口に TopEye バックナンバーがスラリ!うれし〜! ^o^



部室裏のスペースにスタジオを設置!



学年別にポロシャツやジャケットをつくってます!

部員: 15名(三年8名、二年1名、一年6名)
歴史: 創部は1965年(顧問の先生より年上!)
活動: 平日は撮影やデータ整理。水曜にミーティング。休日は校外撮影会や合宿!
機材: デジタル一眼レフカメラ10台、フィルム一眼レフカメラ2台。部員は全員自分のカメラ持っています。
部費: 年に7万8千円の生徒会予算で印画紙やインクを購入。大会出場時は別途交通費が出ます。部費節約法:なるべくムダなプリントをしないように…。

「写真×武道」が上達の道?!

顧問の井戸先生は、前任教で剣道部や弓道部の顧問を担当。その経験を活かし、剣道上達の心得「守・破・離」を、なんと写真部に導入! 字面にちょっとたじろぐけど、確かに写真の練習にもパッチリ活かそうです。その他、活動日を増やしたり、撮影会を盛んにするなどして、「本当の写真好きが集まり、やる時はきっちりやる」雰囲気をつくりあげました。で、それを楽しくやっちゃう部員のみながまたイイ。先輩・後輩の距離感は近いし、普段はゆる〜にぎやかな雰囲気、居心地の良さバツグンです!

顧問の井戸先生
技術に頼り過ぎ、自分の撮りたい気持ちを見失わないようにね!

部員をいじるのが
が楽しそう!

何でもていねいに教えてくれます!

いろんな所に連れて行ってくれる!

第24回先生だけの
フォトサロンの
TopTeacher賞!

1人1冊・スクラップ上達法!

わかんないことは先輩や先生にすぐ聞こう!

写真集や雑誌をたくさん見て参考に!

その他、個人の工夫

とにかく、カメラにたくさん触って慣れる!

雑誌等の写真をスクラップして「何がいいのか」をメモる!
友達のスラップに書き込むのも!

最近のおもな実績

- 2015、16、17年 日韓高校生写真コンテスト 入選(各2名)
- 2016 ひろしま総文 文化連盟賞
- 2016年 岐阜県高総文祭 優秀賞(2名)、奨励賞
- 2016年 毎日写真コンテスト 優秀賞
- 2016年 よみうり写真大賞 入選
- みやぎ総文2017 文化連盟賞(3名)
- 2017年 岐阜県高校写真コンテスト 最優秀賞、優秀賞、奨励賞(2名)
- 2017年 岐阜県青少年美術展 最優秀賞、優秀賞、入選

にぎやかなムードメーカー!
副部長 田口さん

黙々と写真に取り組む熱中派!
部長 熊崎くん

志望する建築関係の仕事に役立つと思って入部!

2016年 毎日写真コンテスト 優秀賞



撮影を通して人とつながるのが嬉しいですね。

撮影依頼用の「名刺」も持っています!



佐藤くん撮影

校内外は被写体の宝庫!

関商工高は、全国レベルのラグビー部や弓道部、バントワリング部など、実力派の運動部がたくさん。ラグビー部に同行して聖地・花園ラグビー場にも撮影に行けるって羨ましい! また、「機械部」「建設工学部」といったものづくり関連の部活も格好の被写体。加えて「刀鍛冶の町」として有名な関市は刀鍛冶の実演を行う施設があり、近隣の長良川では伝統の鵜飼も。被写体には事欠かない感じだけど、ほぼ毎週撮影会なので「新たな場所の開拓が課題 (by井戸先生)」。バワフルです!

ほぼ毎週撮影会!
約2カ月おきに合宿も!?



愛知県のリトルワールド!



学校の近くにこんなキレイなコスモス畑も!!



岐阜城のある金華山&リス村!



田んぼや街で、人に声をかけて撮らせてもらいます。

野球部の試合と応援の様子を撮って、初めて受賞!

こないだ、名古屋に夜景を撮りに行きました!



大林くん撮影



松田くん撮影

人物撮影が好きです。逆光を極めたい!

なにげない風景写真にも、自分の感情が残せます。



小倉くん撮影



被写体を探してる時が一番楽しいです。



いろいろ撮ります。構図は結構考えますよ。



同じ場所でも、作者によって全然違う写真になるのが面白い!



山田くん撮影



西部くん撮影

写真力は「守・破・離」で育つ?!

いろいろ実績積んでいます!!

ここ数年で積み上げてきた県・全国レベルの入賞実績を買われ、市の広報誌や地域メディアの表紙写真を受注! 写真を楽しみながら、いろんな世界へつながっていく勢いがあるって頼もしいです。今後の目標は「全国高総文祭やフォトサロンなどで上位入賞したい!」ぜひぜひ。お待ちしております!



地域の広報誌・タウン誌の表紙や記事の写真を担当!



学校のポスターも撮影!!



ガンバってる人の、一瞬のいい表情を捉えたい!



大林くん撮影



間宮さん撮影

「すべてのコンテストで応募数が過去最多」

岐阜県高等学校文化連盟写真部会 専門部長 井戸 俊博
岐阜県高等学校文化連盟写真部会には30校850名の写真部員が登録し、岐阜県高等学校写真技術講習会、岐阜県高等学校写真コンテスト、岐阜県高等学校総文祭文化祭写真展の3つの活動を行っています。この他にも岐阜県主催の岐阜県青少年美術展が開催され、今年はすべてのコンテストで応募数が過去最多となり、全体の作品レベルもかなり上がっており、活気にあふれています。



「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!!
編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、メールで編集部まで
topeye@nikon.com

テーマ別に撮り方追求!

なるほど

登場人物

サッチャん

斎藤先生

エイ太くん

第14回 TopEye デジタル写真教室

身近にある、いろんな被写体をテーマに撮影の技法やアイデアを紹介するよ。
季節に応じたテーマを取り上げていくから、ぜひ試してみてね!

今月のテーマは… 「流し撮り」で電車をドラマチックに!

鉄道もステキな被写体。学校付近に線路があったりすると、なおさら撮りたくなるね。
そこで今回は、夕暮れの電車を「流し撮り」でドラマチックに撮ってみた。下校時がチャンス!

今回の作例



【撮影データ】
●使用カメラ:Nikon D5 ●使用レンズ:24-120mm(焦点距離:55mm) ●ISO オート(ISO 6400) ●露出モード:M(1/30, f/5.6)
●ホワイトバランス:蛍光灯 ●ピクチャーコントロール:ニュートラル ●AFモード:AF-C、72点ダイナミックAF

被写体は、神奈川県藤沢～鎌倉を走る人気の「江ノ電」。走る電車が止まって、背景が動いて見える「流し撮り」というワザを使ったよ。

表現のポイント!!

Point

- 1 流れる背景を演出! → Mモード(マニュアル露出)かSモード(シャッタースピード優先オート)で「シャッタースピードを設定」!
- 2 露出調整はどうしよう? → ISO感度を「自動制御」にまかせよう!
- 3 近づく電車にピントを合わせなきゃ… → 「AF-Cモード」で対処!

お客さんの様子まで分かるわね!

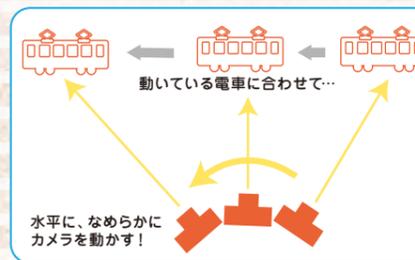
おへ、不思議なスピード感。



今回のワザ

「流し撮り」とは?

走る車や電車に合わせてカメラを動かす撮影技法。うまくいくと、被写体が静止し、背景が動いているようなドラマチックな写真が撮れるよ。



How to

1

「遅めのシャッタースピード」で、背景を美しくブラす!

流し撮りの魅力は、背景が流れるようにブレた表現。その良さをしっかり出すには、「適度に遅いシャッタースピード」が必要だ。露出モードを「M」か「S」にして、シャッタースピードを設定しよう。

路面電車、ローカル鉄道の場合

シャッタースピード
1/30~1/100秒程度

絞り値
f/5.6~8程度

※速い被写体の場合はシャッタースピードも速く。

目標

流し撮りで電車を「静止」させる! ひとすらすら練習して、電車の速度を体得しよう。



残念…背景はうまく流れたけど、電車もブレてしまった。



電光表示がきちんと読めるくらいに止められたら、バッチリだ。

How to

2

「ISO感度自動制御」で露出を安定化!

暗い時間は、電車のライトや車内の照明、周辺の街灯などの影響で露出が安定しない。そんな時は、前回も紹介した「ISO感度自動制御」が便利。

ISO感度自動制御機能の使い方
カメラの設定メニューで「ISO感度設定」を選ぶ

- 基準のISO感度を設定。今回は1600~3200程度に。
- 「感度自動制御」をONにする
- 「制御上限感度」を調整。今回は6400にした。

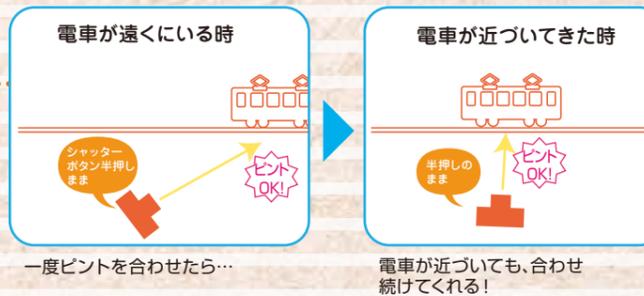
How to

3

「AF-Cモード」で動く被写体もピントぴったり!

電車は、撮影の瞬間まで徐々に近づいてくる。そんな場合、フォーカスモードを「AF-C(コンティニユアス)」モードにすれば、被写体との距離が変わっても自動的に対応してくれる。便利だよ。

AF-Cモードの機能



フォーカスモードの解説 前号(2017年10月号)を見てね!

試してみよう

高速連続撮影モード

今回の作例は、事前に構図をしっかり決めて一発撮りしたけど、「高速連続撮影」を試すのもアリだ。電車が近づいて通り過ぎるまで、アングルや構図が微妙に異なる写真がいくつも撮れるよ。

CAUTION

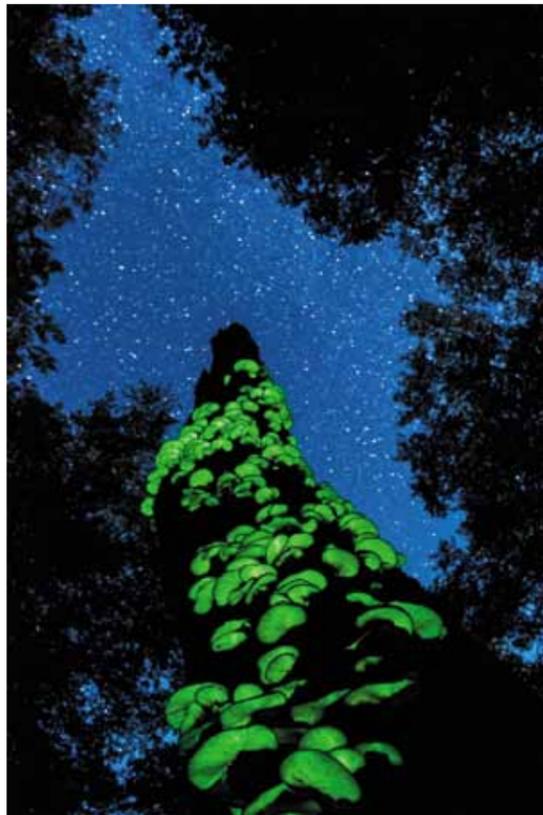
鉄道撮影の注意事項!

CAUTION

- 禁止された場所に入らない!
線路内に入って撮るのは絶対ダメ。重大な運行妨害になり、罰せられます。線路際の民家にも立ち入らないようにね。
- フラッシュの類いは使わない!
電車に向けてフラッシュなどを発光させると、運転士の視界を妨げ、運行妨害になる。ISO感度やシャッタースピードで対処しよう。
- 周囲の人に配慮を!
公道や歩道などでの撮影になるので、通行人や車のジャマにならないように。他に撮影者がいる時は譲り合ってね。特に三脚は場所を取るので注意!

今回は撮影実習はお休み。撮りためた写真データの管理などについて覚えよう!

講師/斎藤 勝則



山形県 月山のツキヨタケ (県立自然博物館)



山形県 小国から雲海を望む



熊本県 御興来海岸の砂干潟

きっかけは、会社員時代でした。休日の早朝、前に観た美しい琵琶湖の写真を思い出し、「観に行きたい!」と。すぐ車で出かけ、家にあったカメラで風景を撮影。積もった雪と美しい朝焼けに魅了され、そこから急速に写真へのめり込みました。休みごとに琵琶湖へ撮影に出かけるようになり、一眼レフカメラや機材も次々と揃えました。最初に使った24-70mmのレンズは、今でもよく使うタイプです。

その後、写真や旅への思いが募って会社を辞め、1年ほど国内外を撮影旅行。撮った写真をコンテストに出品し、いくつか賞をいただきました。再就職してからは地元の京都に目を向け始め、中でも祭りの撮影はライフワークになっています。そうするうち、WEBサイトに載せた写真が旅行誌編集者の目に留まって写真の提供を依頼されたり、写真雑誌などから仕事をいただくようになりました。

「プロ」という意識はあまりありません。商業的な需要より自分の撮りたいものを優先させているので…。いわば「究極の道

楽」ですね。それでも信頼して任せくださる方に、懸命に応える。それが仕事として回っているのは幸せだと思います。

一つの場所を突き詰めるより、日本のあらゆる場所の写真を撮っておきたいという「物欲」があります。誰かの写真を観て「こんな風に撮りたい」と撮影に行くこともありますが、まず期待通りの条件にはならず、別のチャンスを探すことが多いですね。朝焼けを狙って行ったのにずっと曇りで、他の人々が帰った後で雲間から光が差し、幻想的な写真が撮れたりとか。「納得できる写真を」という思いと「来たからには成果を」という思いで粘ります。良い成果のため、撮影の都度冷静にモニターを確認する手順は欠かせません。同じチャンスは二度と来ませんから。

しばらく京都ばかり撮っていた後、久しぶりに自然の風景を撮りに行き、勝手が違い苦労したことがあります。でもそこで磨かれたスキルや視点が逆に、京都を撮ることに役立ちました。得意分野と違うものを撮ってみる経験、意外と大事ですよ。

星野佑佳

Profile

(ほしの ゆか)
京都市生まれ。写真家・フォトエッセイスト。同志社大学法学部卒業。2000年から海外や日本全国を放浪しながら撮影を始める。2005年より地元である京都の風景や風物詩の撮影も手掛ける。三菱電機の液晶テレビWEBサイト「CLUB REAL」に、色彩豊かな京都の魅力を感じたフォトエッセイを掲載。12月下旬発売の「京の祭と行事365日」(淡交社)の写真を担当。2018年1月初旬には雑誌「風景写真」の連載をまとめたフォトエッセイ集「撮り旅」が発売される。

WEBサイト「地球のうえ」
www.5d.biglobe.ne.jp/~yuka0225/index.htm



星野佑佳さんの写真展が開かれます!

■ 1月5日(金)~1月22日(月) ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2 ■ 3月1日(木)~3月14日(水) ニコンプラザ大阪 THE GALLERY ※両会場とも10:30~18:30(日曜休館・最終日は15:00まで)

FRIENDS' EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、情報コーナー。
皆さんの情報提供も待ってるよ!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto
OB/OG訪問!

— キャンパス編 —

写真を学ぶ先輩に
学生生活をインタビュー!



SENPAI-file.17

山田 凌さん

日本大学芸術学部写真学科 3年
「SAMURAI」で第174回フォトサロン入選 (ほか香川県立坂出高等学校OB)



「SAMURAI」

進学のいきさつを聞かせてください。

動機はやはり「うまくならない」という思いです。県高文連の写真大会でお会いした秋元貴美子先生にもっと学びたいと、日大を志望しました。



高校の仲間とは、今でも集まります!

好きな授業は?

「写真基礎演習」ですね。写真の理論や歴史を学ぶほか、フィルム写真の撮影・現像実習もやります。美しいプリントをつくる感覚は、デジタル撮影にも役立ちます。3年では様々なジャンルの写真を勉強中。1枚で世の中の今を写す「報道写真」が興味深いです。



最近の作品から



普段の生活の様子は?

学校の沿線のマンションで一人暮らしです。近所の友達同士でよく集まって鍋会とかやります。写真のセレクトや勉強などは、家だと怠るので(笑)カフェ等でやります。大学で募集していた「TopEye全国高校生写真サミット」のサポーターに参加した縁で、ニコンカレッジのアシスタントのアルバイトもやっています。



写真学科の仲間、雨水光くん、中野雄翔くん(埼玉栄高OB)と花見!

いま、関心があることは?

築地の魚河岸を撮影してから、人と接する仕事に興味を持っています。話すことで「その人」が分かるし、ちょっとした気遣いや対話で気持ちが通じ合うのが嬉しい。街おこしやイベントなど、人々に働きかけて盛り上げるような事がやりたいですね。

では、TopEye読者にメッセージを。

最近強く思うのは、技術だけじゃダメだということ。芯になる「意思」がなければ「自分の写真」は撮れないと感じています。だから、出会いや楽しみ、失敗まで含めて自分の体験がすごく大事です。写真を撮る仲間同士、がんばりましょう!

授業以外の写真活動は?

これまでに7回、写真展を開きました。うち2回が個展で、昨年11月の個展では企画や会場探しから自力でやりました。学校にDMを置いてもらい、友人など、いろんな人に助けられて開催。来客は200人以上で、写真家の方々に来ていただき、すごく励みになりました!



こちらは学内で開催した学生選抜展!

第41回全国高等学校総合文化祭 写真部門優秀作品展

10/17~23

ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1



大盛況! ありがとうございます!

10/21 フォトセミナー
講師: ミゾタユキ 先生

様々な技法の効果を駆使して「自分らしい写真」を撮るためのテクニックをレクチャー。参加した生徒さんの作品に対し、ていねいなアドバイスもいただきました。ステップアップの予感!

研修会レポート 2

宮城県高文連 9/30~10/1

第26回写真技術講習会

会場 1日目: 塩竈市杉村淳美術館 / 塩竈神社ほか
2日目: 市立仙台工業高等学校
講師 小野寺 香那恵氏

県下15校・177名が集った2日間の研修会。小野寺先生の講演会に続いて、由緒正しい塩竈神社を中心に撮影会。2日目はグループで代表作品を選んで講習会。夕方まで撮影に打ち込む姿も見られました!



研修会レポート 1

東京都高文連 11/12

生徒撮影技術研修会

会場 都立小金井工業高等学校



8校・19名が参加した都の研修会は、「光を使った表現力を身に着ける!」がテーマ!露出などのおさらいをした後、フラッシュを使う室内編に、レフ板を使う屋外編。一歩先の撮影術を学びました!



研修会レポート 3

福井県高文連 11/23

県高文連写真講習ゼミ

会場 県立丹生高等学校
講師 藤村 大介氏

4校・35名が参加。当日の撮影会で撮った写真をグループごとに組写真にしてプレゼン・講習会。藤村先生の「良い写真を撮るコツ」などについてのレクチャーにも納得でした!



Photo SALON

2017年度
成績中間発表!

TopEye全国高校生写真サミット2018
15校出場決定!

おめでとう!

- 1位 和歌山県立神島高等学校 252ポイント
- 2位 帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) 188ポイント
- 3位 群馬県立藤岡北高等学校 171ポイント
- 4位 出雲北陵中学・高等学校 (島根県) 127ポイント
- 5位 大阪府立成城高等学校 / 香川県立坂出商業高等学校 121ポイント
- 7位 八代白百合学園高等学校 (熊本県) 111ポイント
- 8位 中越高等学校 (新潟県) 95ポイント
- 9位 沖縄県立知念高等学校 94ポイント
- 10位 千葉県立四街道高等学校 67ポイント
- 11位 熊本県立第二高等学校 60ポイント
- 12位 埼玉栄中学・高等学校 (埼玉県) 54ポイント
- 13位 宮城県白石工業高等学校 48ポイント
- 14位 沖縄県立浦添工業高等学校 47ポイント
- 15位 大阪府立四條畷高等学校 40ポイント

▶15位(40ポイント)宮城県涌谷高等学校 / 群馬県立大間々高等学校 / 埼玉県立芸術総合高等学校 / 山口県立下松高等学校 ▶20位(34ポイント)愛知県立津島東高等学校 ▶21位(27ポイント)北海道稚内高等学校 / 神奈川県立瀬谷高等学校 / 法政大学第二中学・高等学校 (神奈川県) / 奈良県立王寺工業高等学校 ▶25位(20ポイント)静岡県立沼津西高等学校 / 静岡県立伊東高等学校 / 岐阜県関市立関商工高等学校 / 九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県) ▶29位(14ポイント)正則高等学校 (東京都) ▶30位(7ポイント)宮城県利府高等学校 / 宮城県名取北高等学校 / 宮城県仙台市立仙台工業高等学校 / 新潟県立上越総合技術高等学校 / 新潟県立長岡農業高等学校 / 日本大学三島高等学校 (静岡県) / 静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校 / 福井県立丹生高等学校 / 愛知県立小牧南高等学校 / 愛知県立一宮南高等学校 / 島根県立大田高等学校 / 沖縄県立那覇工業高等学校

入賞作品は1~4ページに掲載

次回!いよいよ年度賞決定!!
2017年度 年度賞は「TopEye全国高校生写真サミット2018」
会場で発表・表彰いたします。



次回締切は **1月10日(水)** 当日消印有効 **です!!** 同封の応募用紙をよく読んで応募しよう!

*今回、15位に同ポイントで5校が入りましたが、入賞実績・応募状況に鑑み、1校を選出させていただきました。

TopEye全国高校生写真サミット2018

2017年2月2日(金)~2月4日(日) 会場: 横浜美術館 (レクチャーホール 他)

「TopEyeフォトフォトサロン」成績上位15校が今年度も集結!
写真発祥の街・横浜で腕を競い、交流を楽しむ3日間。
一般公開のプログラムもあるよ。皆さん、ぜひ遊びに来てね!

講師・審査員
小林 紀晴氏
秋元 貴美子氏
藤村 大介氏
ミソタユキ氏
林 典子氏
(特別審査員)



作品発表、
写真家の
講演会は
一般公開

横浜の街で
撮影会!

開催の様子は
SNSで
随時発信

公式 SNS も Check!!

同封のチラシを見てね!!

ぜひフォローして、
いいね&コメントよろしく!!

*「TopEye全国高校生写真サミット2017」Facebook 画面

Facebook
www.facebook.com/nikon.topeye.summit

Twitter
@nikon_topeye_summit

Instagram
@nikon_topeye_summit

主催: 株式会社ニコンイメージングジャパン
共催: 横浜美術館
後援: 横浜市文化観光局、高等学校文化連盟全国写真専門部
協力: エブソン販売株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、ほか

おめでとう 第65回 ニッコールフォトコンテスト 第5部「TopEye&Kids」部門 TopEye賞受賞者全員入賞!!

今年新設された「18歳以下限定」の第5部「TopEye&Kids」部門。なんと、フォトフォトサロンの常連応募者から「直接応募」でニッコール大賞(最高賞)が出ました!! 「TopEye賞」受賞のノミネート作品も随時入賞!!



審査員・小林紀晴先生から
この部門では多くの方が、「素の感情」をてらなく表現していると感じました。実はそれこそが若い世代の特権。皆さんの強みを活かした刺激的な写真をこれからも待っています!

12月、1月に「第5部」写真展を開催! 観に来てね!!
12/19(火)~12/29(金) ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2
1/18(木)~1/24(水) ニコンプラザ大阪 THE GALLERY
開館時間: 両会場とも10:30~18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)

直接応募で受賞!!
ニッコール大賞受賞 「誰そかれ」山本 優花 さん
[大阪府立成城高等学校 2年 / 「自然の彫刻」で第179回 TopEye賞]

「TopEye賞」ノミネートで入賞!!
準特選 「本気×本気」木村 里穂 さん
[群馬県立藤岡北高等学校 OG / 第182回 TopEye賞]

入選 「視線」白石 真理 さん
[八代白百合学園高等学校(熊本県)OG / 第180回 TopEye賞]

入選 「いとくゆかし」石井 さら さん
[山口県立下松高等学校 2年 / 第181回 TopEye賞]

直接応募でも随時入賞!!
いつも「フォトフォトサロン」に応募してくれるみんなも「直接応募」で多数受賞しています!

推選 高松 志帆 さん
[山口県立下松高等学校 1年]

推選 木子 慎太郎 さん
[香川県立坂出商業高等学校 3年]

推選 飯田 拓己 さん [愛知県立津島東高等学校 2年]
上野 隆生 さん [福井県立丹生高等学校 2年]
島倉 葵 さん [和歌山県立神島高等学校 2年]

推選 高橋 春佳 さん [光ヶ丘女子高等学校 (愛知県) 2年]
土山 日菜恵 さん [和歌山県立神島高等学校 2年]
中島 理子 さん [香川県立坂出高校 2年]
野口 花梨 さん [大阪府立生野高校 3年]
山岡 雅 さん [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校2年]

ニコンプラザ 写真展NEWS 開館時間: 両会場とも10:30~18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)

今年は早めに開催します!
2017年度「TopEyeフォトフォトサロン」入賞作品展 「TopEye全国高校生写真サミット2018」優秀作品展
同時開催 ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2 2018年3月13日~19日
連続開催 ニコンプラザ大阪 THE GALLERY 2018年3月29日~4月4日
フォトフォト展 2018年4月5日~4月11日 サミット展

第6回 日韓中高校生フォトコンテスト 写真展
夏に行われた、3カ国をまたぐコンテストの優秀作品を展示!
主催: 高等学校文化連盟全国写真専門部
大阪で先に開催! ニコンプラザ大阪 THE GALLERY 2018年2月1日~7日
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2 2018年2月13日~19日

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3020

次号の『TopEye』(No.295)は
2月21日発行予定です。
何とぞご了承ください。

